

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61-67408

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月9日

F 16 B 15/08
B 21 D 53/46
B 21 G 7/00
H 01 R 11/01

6814-3J
6778-4E
6689-4E
6625-5E

審査請求 未請求 (全1頁)

⑮ 考案の名称 連結タツカー針

⑯ 実 願 昭59-152616

⑰ 出 願 昭59(1984)10月9日

⑱ 考 案 者 吉 田 克 彦 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

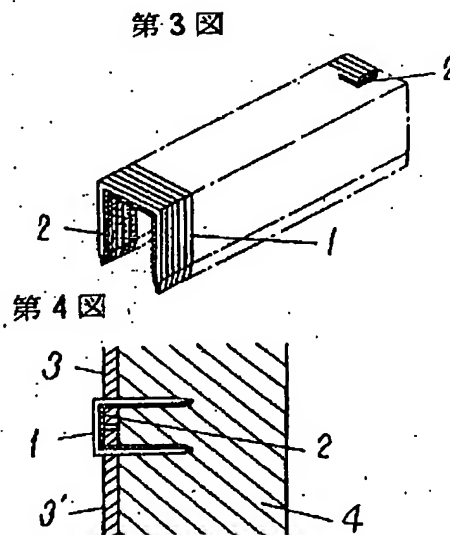
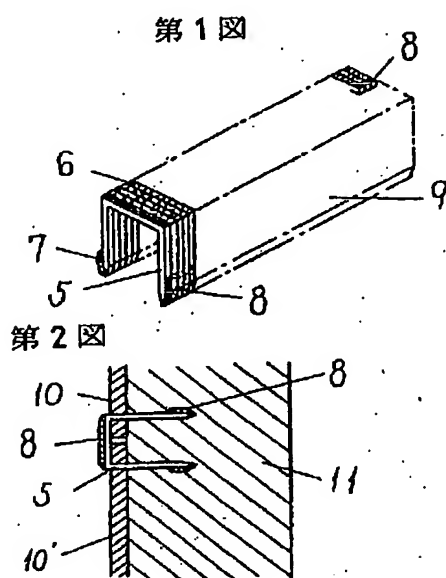
コ状をした複数の金属製のタツカー針素体を、その外側頭部及び、両足先端部のみを絶縁性の接着剤で連結してなる連結タツカー針。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の連結タツカー針の斜視図、第

2図は同使用状態の断面図、第3図は従来の連結タツカー針の斜視図、第4図は同使用状態の断面図である。

5……タツカー針素体、6……外側頭部、7……両足先端部、8……合成樹脂接着剤。



公開実用 昭和61-67408

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-67408

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月9日

F 16 B 15/08
B 21 D 53/46
B 21 G 7/00
H 01 R 11/01

6814-3J
6778-4E
6689-4E
6625-5E

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 連結タツカー針

⑯ 実 願 昭59-152616

⑰ 出 願 昭59(1984)10月9日

⑱ 考 案 者 吉 田 克 彦 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名



明 細 書

1、考案の名称

連結タッカー針

2、実用新案登録請求の範囲

コ状をした複数の金属製のタッカー針素体を、
その外側頭部及び、両足先端部のみを絶縁性の接
着剤で連結してなる連結タッカー針。

3、考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は、導電体の固着および電氣的接続のため
に用いられる連結タッカー針に関する。

従来例の構成とその問題点

一般にこの種の連結タッカー針は第1図に示す
ようにコ状をなした金属製タッカー針素体1の内
面に塗布した合成樹脂接着剤2によって連結して
なり、これを打込機（図示せず）に供給し、タッ
カー針素体1を1個ずつ切りはなして打合うよう
になっている。

ところで、第4図に示すように、導電体3，3'
を基体4に固定および前記導電体3，3'相互の電

□ 氣的接続を行うために用いるとき、前記固定は満足するものの、導電体 3, 3' 相互は、合成樹脂接着剤 2 が絶縁性であることにより、導通が損なわれるという問題があった。

5 考案の目的

本考案は前記従来の問題に留意し、導電体の電氣的導通に好適な連結タッカー針を提供することを目的とするものである。

考案の構成

10 前記目的を達成するため、本考案はコ状をした複数の金属製のタッカー針素体を、その外側頭部および両足先端部のみを接着剤で連結してなる連結タッカー針の構成としたものであり、導電体の固定と電氣的接続に有効なるものである。

15 実施例の説明

以下本考案の一実施例を第 1 図および第 2 図にもとづき説明する。

図において 5 はコ状をした金属製のタッカー針素体であり、多数の前記タッカー針素体 5 の外側頭部 6 と両足先端部 7 に塗布した合成樹脂接着剤

□

8により連結して連結タッカー針9を構成している。

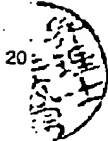
前記構成の連結タッカー針9は、打込機に供給できることはもとより、第2図に示すように、導電体10、10'を基体11に固定および前記導電体10、10'相互の電氣的接続を行うために用いるとき、電氣的接続に必要な箇所には、絶縁体である前記合成樹脂接着剤8が介在しないため導通が損われるという問題がない。

10 考案の効果

前記実施例の説明より明らかなように、本考案の連結タッカー針は、タッカー針素体の必要箇所には、絶縁体である合成樹脂接着剤が塗布されずに連結されているため、導電体の固定と電氣的導通に好適であり、もちろん、他の単なる機械的固定用としても利用でき、その実用的効果の大きいものである。

4、図面の簡単な説明

第1図は本考案の連結タッカー針の斜視図、第2図は同使用状態の断面図、第3図は従来の連結



[] タッカー針の斜視図、第4図は同使用状態の断面である。

5 ……タッカー針素体、6 ……外側頭部、7 ……両足各端部、8 ……合成樹脂接着剤。

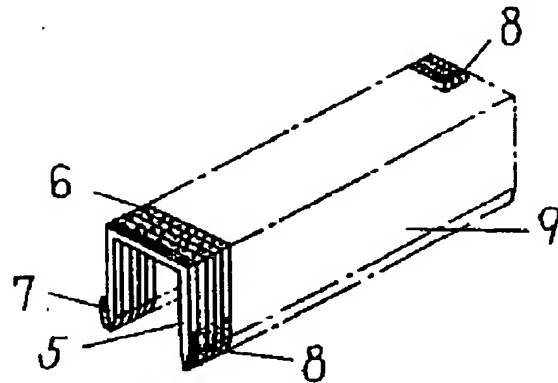
5 代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

10

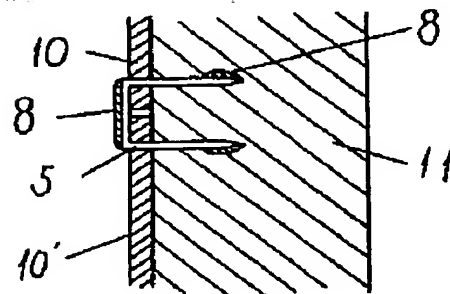
15



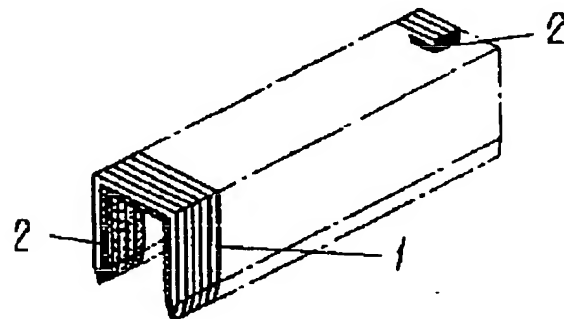
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

